

# 会 議 録（修正後）

件 名	第1回宇治市特別職報酬等審議会
日 時	令和3年9月14日（火） 9：30～11：30
場 所	本庁舎7階特別会議室及びWeb会議による開催
出席者	各委員・事務局職員

## 【概要】

- 1 委嘱状交付
- 2 市長からの諮問
- 3 議事
  - (1) 審議の公開・非公開について
  - (2) 令和3年度審議予定について
  - (3) 資料説明について

## 【内容】

- 1 委嘱状交付  
松村市長から新任の辻川委員に委嘱状の交付を行う。

- 2 市長からの諮問  
諮問書別添

### 市長挨拶（抜粋）

現在も新型コロナウイルス感染症が流行している状況にある。新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として経済状況は厳しい状況にあるが、8月の月例経済報告の中で、「持ち直しの動きが出ている」ことについても実感する面もある。宇治市内の感染者数は、累計で2,200人を超えているが、予防という観点で進めているワクチンの接種については、65歳以上の9割を超える方が2回目のワクチンを接種済みで、全体としても接種率は50%近くまできている状況にある。一方で若年層の感染者が増加しており、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じていかなければならないと考えている。今後の宇治市政としては、新型コロナウイルス感染症の影響や人口減少など課題が多くあると認識している。このような非常に厳しい状況の中、特別職の責任の度合いは、一段と高まってきているものと認識している。

今年度の審議においても、忌憚のないご意見、ご検討を賜りますようお願いしたい。

- 3 議事

- (1) 審議の公開・非公開について

（委員）昨年までの議論のとおり、「宇治市審議会等の会議の公開に関する指針」の第3（2）を主な理由に、審議は非公開とし、終了後、議事録を公開するのが望ましい。

委員の意見を踏まえ、審議は非公開とし、議事録（要旨・発言者の氏名非公開）及び資料を答申後に公開することに決定した。

- (2) 令和3年度審議予定について

（事務局説明）

全体で4回程度の審議を行い、11月上旬に答申をいただく予定である。

（裏面に続く）

(3) 資料説明

事務局より、①令和3年度予算の概要、②令和2年度宇治市普通会計決算概要、③京都府内・類似団体の特別職等の報酬の状況等について、資料集をもとに説明を行う。

(委員) 平成30年度から実施している市長、副市長、教育長の給料月額に関する減額措置について、期限は設定されているのか。

(事務局) 特別職の給料月額に関する減額措置は、当分の間実施すると条例に定めているため、引き続き実施しているところである。

(委員) 府内各市における特別職の期末手当について、支給月数はおおむね同じだが、加算率はばらつきがある。加算率とは何か。

(事務局) 一般職の役職加算に相当するものであり、宇治市においては、国の指定職の率を参酌し、特別職の加算率を30%としている。期末手当の算定にあたっては、給料月額に支給月数と1.3を乗じることとなる。

(委員) 例年、期末手当の支給月数を意見具申しているが、加算率を加味しなくて良いのか。

(事務局) 現行では、宇治市の加算率は30%となっており、その制度も含めた支給月数・支給額について本審議会で議論いただいているものと考えている。

(委員) 宇治市の財政は、投資的経費が少ないことにより健全に見えている。新市長になり、積極的な財政を実施されるように見えるが、その辺りの考えはあるのか。

(事務局) 令和3年度予算では、宇治文化センターの長寿命化事業や橋梁・道路などの道路インフラ長寿命化事業、六地蔵地区道路整備事業、黄檗公園再整備事業、JR奈良線複線化事業等を投資的経費として計上している。また、今後は西小倉地域での小中一貫校整備事業等も予定している。

(委員) 宇治市は義務的経費の割合が大きく、人件費の比率が他市と比べ相対的に若干高い。このような状況をどう考えているのか。

(事務局) ラスパイレス指数が宇治市は全国的に高い状況にあるため、人件費全体として見直しを行い、捻出した財源を投資的経費等に配分をしていかないといけないと考えている。

(委員) 宇治市として管理職及び特別職に係る給料月額の減額措置を継続的に実施されており、減額後も他団体と比べて人件費比率が高い状況にあるということを共有しておいた方が良くと思う。

(委員) 令和3年度予算概要について予算の中でも宇治市としてどこに力を入れていくのか分かる資料を次回提供いただきたい。

(委員) 新市長がどこに重点を置くのかをもう少し説明いただきたい。また、市長、副市長、教育長の活動状況が分かる資料を次回提供いただきたい。

(事務局) 現在、令和4年4月からを計画期間とした第6次総合計画及び第8次行政改革に係る計画について、策定に向けて取り組んでいるところである。新市長の下で、今後宇治市全体の方向性をどうしていくか、また、行政内部も含めて行政改革をどのように行っていくかなどを定めているものとなるため、次回資料としてお示ししたい。また、市長、副市長、教育長の公務内容についても何かお示ししたい。

(委員) 経常収支比率が高いため、新市長になっても新たに何かを実施するのは難しいと思うが、令和3年度予算を見ていると新たなことにチャレンジしているのを感じる。しかし、歳入を増やさないと財政の硬直化は改善しない。多少赤字になったとしても、新たな取り組みを行えば宇治市の未来のためになるという方が市民も納得し、まちも良くなると感じた。

(委員) 資料5の「府内各市の特別職・議員の任期内収入の一覧表」では、市長、副市長、教育長の収入は宇治市の自治体規模を踏まえると突出して高いものではないと思うが、議員の任期内総収入はどこよりも高くなっている。(※)

(審議終了)

※当該資料の宇治市の議長、副議長、議員の任期内総収入が誤っており、資料を修正し、府内では京都市に次ぐ水準であることを第2回審議会にて事務局から説明。